

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	若年人材確保事業	コード	32101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 増田 亮吾
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	勤労者対策の推進	施策	雇用対策の充実
		予算科目	若年人材確保事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	就職を希望する若年者と岡谷市内の企業を対象に、雇用の安定と人材育成のために、優秀な若年者を岡谷市へ就職させることを目的とする。		
目的	対象者	就職活動をしている若年者（大学生、高校生）	
	意図	若者（主に新卒）の就活を支援する	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>若年人材確保事業として岡谷労務対策協議会、商工会議所と連携し各種事業を行なった。</p> <p>○大学訪問事業 関東方面 14校、中京方面 7校訪問</p> <p>○就職準備セミナー 岡工にて講師1名1校（岡工）、テクノプラザにて 講師1名ほか3校（岡工、岡谷東、諏訪実）参加 ○新入社員激励会 154名</p> <p>○大学情報交換会 57大学、企業側57社（東京）、6大学、17社（諏訪）</p> <p>○松本大学 東京電機大学 山梨大学 日本工業大学学内企業説明会</p> <p>○保護者向け就職セミナー テクノプラザにて 講師3名 20名参加</p> <p>○諏訪圏工業メッセ見学 岡谷工業高校2年生 ○若者相談事業（夜間休日相談）</p> <p>○諏訪地域合同企業説明会（2018対象計3回、2019対象計2回）参加企業計426社（市内105）参加者計324人</p> <p>○インターンシップ促進補助金の実施</p> <p>○中学生就職応援事業 市内4中学校2年生4校、1年生1校 ○校内企業説明会3年生1校</p>			
前年度の課題への対応	東京電機大学等での学内企業説明会の開催等、若年人材の確保に努めた。若者相談事業等を継続し、離転防止に努めた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	大学等訪問数及び説明会開催大学数の合計			単位	回
実績値	42	28	26		
*指標の説明					
② 成果指標（指標名）	岡谷市内への若年者就職者（激励会への参加数）			単位	人
目標値	125	153	153	154	
実績値	153	142	154		
達成度	122.4%	92.8%	100.7%		
*指標の説明	大卒・高卒などの採用数（新入社員激励会参加者数）				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の実績値の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	374,480	1,812,990	1,849,200	1,969,000
経常経費	374,480	1,812,990	1,849,200	1,969,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	2,800,000	5,840,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.35	0.73	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	3,174,480	7,652,990	6,649,200	6,769,000
前年度比		241.1%	86.9%	101.8%
財源				
一般財源	3,174,480	7,652,990	6,649,200	6,769,000
内訳 特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	75,583	273,321	255,738	
前年度比		361.6%	93.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
岡谷労務対策協議会 負担金	件数	1	1	1	1
	金額	343,000	1,423,000	1,423,000	1,423,000
インターンシップ促 進補助金	件数		25	32	41
	金額		264,000	324,000	432,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	343,000	1,687,000	1,747,000	1,855,000
	割合	91.59%	93.05%	94.47%	94.21%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 108.5%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 100.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 大都市圏の採用活動の活発化や学生の強い大手志向などに伴う、市内企業の若年人材の確保	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 継続的に大学訪問、説明会等を行い地域の企業周知	
改 善 方 法		
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---